

学 術 研 究 発 表 集 録

(2007.1.1～2007.12.31)

人文・社会科学

口 頭

株式会社キメラの成長の軌跡 —北海道室蘭へ進出して大きく飛躍—	森 永 文 彦	現代企業研究会 2007. 1
江別市の経済活性化戦略 —産学官連携による小麦プロジェクトの広がり・深まり—	松 本 懿 佐久間 良 博 久 保 泰 雄	北広島まちづくり学会第4回 研究例会 2007. 2
大学における統計学の講義とその問題点	小 糸 健太郎	第4回数学教育研究会 2007. 2
持続可能型商店街の診断技法	加 藤 敏 文	日本商業学会北海道部会 2007. 3
農場制型 TMR センターの経済的評価	荒 木 和 秋	日本農業経済学会 2007. 3
フランスにおける農村ツーリズムの展開	佐 藤 和 夫 岩 本 博 幸	日本農業経済学会 2007. 3
地産地消の経済波及効果について —産業連関表を用いて北海道を事例として—	深 澤 史 樹 工 藤 英 一	生活経済学会 2007. 4
Static ストレッチングおよび dynamic ストレッチングによるパワー変化の要因の違い	山 口 太 一 石 井 好 二 高 嶋 涉 山 中 正 紀 安 田 和 則	第9回日本体力医学会北海道 地方会 2007. 4
若年健常者によるコエンザイム Q 10 水溶化粉末 (ZMC-KOUGEN 社) 摂取の最大運動負荷時糖代謝に 与える影響	山 口 太 一 佐々木 船 将 一 真 小 林 直 太 寺 井 邦 樹 et al 彦 格	第4回国際機能食品学会 2007. 5
「捕鯨問題」と日本の政・官・業・学・メディア・NGO	森 川 純	総合人間学会第1回研究大会 2007. 5
食の安全・安心（信頼）を提供するトレーサビリティ システム —産地の偽装を防止する仕組みに関する研究と課題—	鈴 木 忠 敏	日本消費経済学会全国大会 2007. 5
競技規則の改定に伴う競技運営の諸問題とその対策	金 田 隆 一	日本バドミントン協会競技・ 審判員委員会研修会 2007. 5
ニジェール河内陸デルタ地方における乾燥化と農家経 済	山 崎 亮 一	日本アフリカ学会 2007. 6
米政策改革下における生産調整の問題点 —福島県を事例として—	相 原 晴 伴 小 山 良 太	日本農業市場学会 2007. 7
農業における外国人労働者の現状と課題 —外国人研修生の就農構造の分析を中心として—	家 串 哲 生 片 岡 美 喜	日本農業市場学会 2007. 7
新スコアリングシステム導入における競技運営の変化 とそれの対応について	金 田 隆 一	北海道バドミントン協会審判 委員会研修会 2007. 8

北海道における情報教育の共通基盤形成に向けた調査 2007	森 夏 節 藤 法 義 曾 聰 起 青 直 史 棚 二 朗 et al	PC カンファレンス 2007 2007. 8
農業経営における環境コスト及び環境資産の会計	家 串 哲 生	日本農業経営学会 2007. 9
外国人研修・技能実習制度のあり方とその可能性に関する実態分析 —茨城県銚田市の JA 茨城旭村と G 協同組合を事例に—	家 串 哲 生 片 岡 美 喜	地域農林経済学会 2007. 10
農業経営における環境コストの認識・測定に関する一考察 —農事組合法人Mにおける環境会計導入事例より—	家 串 哲 生	地域農林経済学会 2007. 10
新システム下における農協の米需給調整の役割 —福島県を事例として—	相 原 晴 伴 小 山 良 太	日本協同組合学会 2007. 10
火山噴火経験のモデル化	押 谷 一	日本地域学会 2007. 10
北海道の情報教育に関する共通基盤形成に向けた調査	森 夏 節 藤 法 義 曾 聰 起 青 直 史 棚 二 朗 et al	情報処理研究集会 2007. 11
農業経営における環境コスト及び環境資産の会計	家 串 哲 生	日本社会関連会計学会 2007. 11
株式会社日江金属 —建設業から製造業へ進出して大きく成長—	森 永 文 彦	現代企業研究会 2007. 12
トウモロコシグレーンサイレージの水分含量が好気的 変敗に及ぼす影響	名久井 忠 和 田 平 樹 義 岡 本 竜 宮 川 栄 一 et al	北海道草地研究会 2007. 12
北海道中央部における多収サイレージ用作物としての ソルガム優良品種の選定	名久井 忠 森 山 亜 紀 星 義 平 肇 小 平 坂 樹 et al	北海道草地研究会 2007. 12
村井吉敬編著『徹底検証ニッポンの ODA』をめぐる辛 口批評	森 川 純 萱 野 篤 智 篤	日本平和学会北海道地区研究会 2007. 12

誌 上

- | | | |
|---|--|--|
| Muscle damage and soreness following 50 km cross-country ski race | W. Takashima
K. Ishii
K. Takizawa
T. Yamaguchi
K. Nosaka | Eur. J. Sport Sci.,
2007. 3, 7(1) : 27-33 |
| Acute effects of dynamic stretching exercise on power output during concentric dynamic constant external resistance leg extension | T. Yamaguchi
K. Ishii
M. Yamanaka
K. Yasuda | J. Strength Cond. Res.,
2007. 11, 21(4) : 1238-1244 |
| 運動前のストレッチングがパフォーマンスに及ぼす影響について
—近年のストレッチング研究の結果をもとに— | 山 口 太 一
石 井 好二郎 | CREATIVE STRETCH-
ING
2007. 11, 5 : 1-18 |
| 称え合う組織へ | 松 本 懿 | HEERO REPORT
2007. 1, (59) : 2 |
| 夕張の再生は、日本の社会保障の見直しの原点 | 押 谷 一 | HEERO REPORT
2007. 3, (61) : 3-4 |
| 自由貿易の推進と日豪 EPA | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 4, (522) : 9-10 |
| 国際ルール強化と品目横断的経営安定対策 | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 5, (523) : 9-10 |
| 動き出した WTO 農業交渉 | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 6, (524) : 11-12 |
| 関税削減と低関税輸入枠拡大のバランス | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 7, (525) : 9-10 |
| 推進される日本産農産物の輸出拡大 | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 8, (526) : 9-10 |
| 品目横断的経営安定対策と農業の構造改革 | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 9, (527) : 9-10 |
| 関税削減と国内政策の充実 | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 10, (528) : 9-10 |
| 穀物価格高騰と米価下落 | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 11, (529) : 9-10 |
| 見直しがせられた品目横断対策 | 相 原 晴 伴 | NOSAI
2007. 12, (530) : 9-10 |
| 農畜産経営における出資型株式等会社法人の形成・展開要因分析の研究 | 市 川 治 | 開発こうほう
2007. 10, (532) : 34-38 |
| スウェーデン・ヨーテボリにおける BRG の役割 | 石 田 正 昭
中 原 准 一
波多野 豪
徳 田 博 美
増 田 佳 昭 | 農業農村の持続的発展をめざす
コミュニティ型投資・雇用
戦略の日欧比較研究、
平成 16～18 年度科学研究費
補助金（基盤研究 B）研究成
果報告書
2007. 4, : 103-112 |
| 噴火経験と住民意識のモデル化 | 押 谷 一 | 火山爆発のダイナミックス、
科研費特定領域研究報告書
2007. 3, 5 : 386-392 |
| 江別市の経済活性化戦略
～産学官連携による小麦プロジェクトの広がり・深まり～ | 松 本 懿
佐久間 良 博
久 保 泰 雄 | 北広島まちづくり学会会報
2007. 10, (10・11 合併)
: 39-47 |

コメ主産地の農協マーケティングの展開戦略 ー北海道の生き残り戦略ー	相 原 晴 伴	協同組合研究 2007. 8, 26(2) : 12-15
農場制型 TMR センターの現状と課題	荒 木 和 秋	ぐらーす 2007. 1, 51(2) : 12-18
ピレネー山脈のフランス側における冬季オサムシ採集 の結果	山 崎 亮 一	甲虫ニュース 2007. 12, (160) : 1-4
北海道米の系統共販と産地再編	相 原 晴 伴 東 山 寛	米産業の競争構造とマーケ ティング対応型産地再編に関 する研究, 平成 16~18 年度科学研究費 補助金(基礎研究 B) 研究成 果報告書 2007. 3, : 143-159
福島県産米の動向と産地戦略	相 原 晴 伴	米産業の競争構造とマーケ ティング対応型産地再編に関 する研究, 平成 16~18 年度科学研究費 補助金(基礎研究 B) 研究成 果報告書 2007. 3, : 254-258
二度と巡り会うことのできない本	尾 野 麻紀子	札幌人, 札幌グラフコミュニ ケーションズ 2007. 3, 春号 : 71
株式会社キメラ: 北海道で大きく飛躍	森 永 文 彦	産研論集, 札幌大学経営学部附属研究所 2007. 11, 35 : 59-72
市町村合併に伴う山村新興対策をめぐる状況の変化と 対応	家 串 哲 生 中 川 聡七郎	平成 18 年度山村振興対策推 進調査報告書, 農林水産省農村政策課 2007. 3, : 61-71
『神谷美恵子コレクション』の刊行に際して	尾 野 麻紀子	詩と散文 2007. 12, (77) : 9-10
食の安全性・環境保全に関する農業リスクマネジメントと環境会計	家 串 哲 生	社会関連会計研究, 日本社会関連会計学会 2007. 1, (18) : 5-15
酪農王国・北海道は市場開拓から始まる ~特集 道内産「食素材」の可能性~	鈴 木 忠 敏	しゃりばり 2007. 7, (305) : 8-14
日本の食料資源保全の再構築	荒 木 和 秋	週刊農林 2007. 1, (1973) : 3
〈発表要旨〉ガブリエル・マルセルにおける「誠実」と 「固執」	小 林 敬	宗教研究 2007. 3, (351) : 230
水田地帯における転作作物導入による所得向上対策調 査報告	相 原 晴 伴	水田地帯における転作作物導 入による所得向上対策調査報 告書, 地域農業研究所 2007. 3, : 1-55
北海道米の系統共販と産地再編	相 原 晴 伴 東 山 寛	空知農業・農協運営の現状と 課題, 地域農業研究所 2007. 3, : 37-51
伝統的放牧地帯の経営と技術	荒 木 和 秋	デーリイマン 2007. 2, 57(2) : 36-37
酪農支援組織を訪ねて(30)滋賀県東近江市ヌカラック	荒 木 和 秋	デーリイマン 2007. 2, 57(2) : 61

「究極」を生み出す山地酪農（前編）	荒 木 和 秋	デーリイマン 2007. 3, 57(3) : 48-49
酪農支援組織を訪ねて(3)岩手県・金ヶ崎町効率的飼料生産組合	荒 木 和 秋 小 田 朋 佳	デーリイマン 2007. 3, 57(3) : 54
「究極」を生み出す山地酪農（後編）	荒 木 和 秋	デーリイマン 2007. 4, 57(4) : 40-41
酪農支援組織を訪ねて(32)北海道八雲町(有)八雲フィードデザイン	荒 木 和 秋	デーリイマン 2007. 4, 57(4) : 50
放牧を通じ経営者としての主体性回復も	荒 木 和 秋	デーリイマン 2007. 5, 57(5) : 32-33
政策に振り回されない酪農郷をつくろう	吉 野 宣 彦	デーリイマン 2007. 6, 57(6) : 36-37
TMR センターを軸とした地域連携に活路	仙 北 富志和	デーリイマン 2007. 7, 57(7) : 38-39
特集 2007 国産チーズ夜明け前 求められる商品・販売のコーディネーター ～小・中規模工房の販売戦略を考える	鈴 木 忠 敏	デーリイマン 2007. 9, 57(9) : 22-23
数分間隔で繰り返される跳躍間の適切な準備運動	山 口 太 一 石 井 澤 好 二 瀧 高 嶋 一 郎 稲 森 謙 吾	トレーニング科学 2007. 12, 19(4) : 351-359
持続可能型商店街の診断技法	加 藤 敏 文	流通と経営診断～辺境からの 挑戦, 日本経営診断学会論集, 同友館 2007. 10, 7 : 231-242
開拓者は原始林を残した	仙 北 富志和	日本経済新聞 2007. 10, (43738) : 44
作付け抑制できず価格目標ない対策の欠陥	相 原 晴 伴	ニューカントリー 2007. 12, 54(12) : 16-17
新需給調整システム下での北海道米の方向性	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 1, 59(1) : 34-35
有機農業の推進には関連制度の整合性が重要	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 2, 59(2) : 36-37
農産物輸出では海外の需要動向の把握が重要	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 3, 59(3) : 46-47
女性農業者ネットワークほっかいどうフォーラム 2007	工 藤 英 一 奥 山 俊 二 奥 山 口 威 枝 谷 口 紅 裕 谷 口 美 子	農家の友 2007. 4, 59(4) : 24-32
日豪 EPA では重要品目の例外措置が必要	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 4, 59(4) : 34-35
バイオマスに対する農業としての関わりを明確に	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 5, 59(5) : 28-29
日本農業の展開方向は農家自身で決めよう	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 6, 59(6) : 40-41
財界のためではなく農業のための農業改革を	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 7, 59(7) : 82-83
「白書」において再確認された食料自給率の向上	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 8, 59(8) : 38-39

米政策改革では各対策の意義を明確に	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 9, 59(9) : 18-19
直接支払いに頼りすぎない政策体系を	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 10, 59(10) : 18-19
岐路に立つ米の生産調整	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 11, 59(11) : 18-19
「戸別所得補償法案」の内容と問題点	相 原 晴 伴	農家の友 2007. 12, 59(12) : 18-19
国民の危機意識について	工 藤 英 一	農家の友 2007. 12, 59(12) : 22-23
北海道空知管内 JA のとりくみ	相 原 晴 伴	農業と経済 2007. 3, 73(3) : 64-67
地域労働市場論と 1980 年代における日本経済の転換	山 崎 亮 一	農業問題研究 2007. 11, (61) : 1-16
農業生産の振興, 6 次産業化・交流人口拡大の連携の 必要性	市 川 治	農村振興連携施策の評価分析 調査報告書 2007. 3, : 25-32
大学農林経済教員の社会貢献の役割を構造的視角から 探る	家 串 哲 生	農林業問題研究 2007. 3, 42(4) : 347-348
改めて自治と協働を考える	松 本 懿	ひろば, 釧路市行財政改革推 進室 2007. 9, (7) : 2-14
道内自治体職員の情報ニーズと収集活動	松 本 懿	フロンティア 180 2007. 7, (62) : 53-56
農畜産経営における出資型株式等会社法人の形成・展 開要因分析の研究	市 川 恒 治 仁 平 夫 東 山 誠 井 上 司 吉 岡 徹	平成 16 年度助成研究論文集, 北海道開発協会開発調査総合 研究所 2007. 6, : 37-56
農産および食品製造副産物の飼料利用	名久井 忠	北海道有機農業技術研究年報 2007. 3, : 31-40
綿羊肉需給に関する日中比較分析 —綿羊肉需要拡大の方向性を焦点に—	工 藤 英 一 小 山 久 一 胡 爾 査 深 澤 史 樹	酪農学園大学紀要 2007. 4, 31(2) : 85-130
米生産調整政策による流通量調整の効果	相 原 晴 伴	酪農学園大学紀要 2007. 10, 32(1) : 1-6
生産の多様化とプロダクト・イノベーション —シュンペーターのマルクス経済学批判(6)—	清 野 康 二	酪農学園大学紀要 2007. 10, 32(1) : 7-22
IT 機器がもたらす環境負荷	森 夏 節	酪農学園大学紀要 2007. 10, 32(1) : 23-30
循環型社会形成に対する住民意識	押 谷 一	酪農学園大学紀要 2007. 10, 32 (1) : 47-56
「ナチュラルチーズ処理増で生乳増産に向かえるか」	中 原 准 一	酪農ジャーナル 2007. 1, 60 (1) : 12-14
サイロ・サイレージ物語 1 サイレージづくりは明治末期から	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 1, 60 (1) : 83
サイロ・サイレージ物語 2 世界では古代エジプト時代から作られていた	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 2, 60 (2) : 71

サイロ・サイレージ物語 3 田園風景を引き立てるれんがサイロ	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 3, 60(3) : 69
サイロ・サイレージ物語 4 戦後すぐのサイレージづくりは馬を使った	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 4, 60(4) : 69
経営の機械化・施設化と畜産労働	荒 木 和 秋	酪農ジャーナル 2007. 5, 60(5) : 58-60
サイロ・サイレージ物語 5 人海戦術だった戦後 10 年ころのサイロ詰め	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 5, 60(5) : 71
サイロ・サイレージ物語 6 サイロ資材としてビニールフィルムが登場	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 6, 60(6) : 73
課題の多い学乳 —牛乳の飲用習慣定着を目指して— ～特集 変わる学乳と酪農の環境～	鈴 木 忠 敏	酪農ジャーナル 2007. 7, 60(7) : 16-18
サイロ・サイレージ物語 7 通年給与方式の立役者・高野信雄翁	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 7, 60(7) : 69
中国・内蒙古における酪農・畜産バイオガスシステム	市 川 治 中 村 三稔 胡 爾 査 發 地 喜久治	酪農ジャーナル 2007. 8, 60(8) : 54-57
サイロ・サイレージ物語 8 トラクタ導入がサイレージの作り方を変えた	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 8, 60(8) : 71
サイロ・サイレージ物語 9 大型スチール気密サイロを導入したもの…	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 9, 60(9) : 69
比重高める酪農家の繁殖和牛飼養 —新事業で酪農部門に期待強める農政—	中 原 准 一	酪農ジャーナル 2007. 10, 60(10) : 52-54
サイロ・サイレージ物語 10 飼料自給へグリーンサイレージを作ろう	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 10, 60(10) : 73
地球温暖化の歴史的背景と農業への影響・対策	押 谷 一	酪農ジャーナル 2007. 11, 60(11) : 24-27
サイロ・サイレージ物語 11 サイロの大型化と変敗発生, そして破裂事故	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 11, 60(11) : 73
新規就農で農村を再生させるためには	吉 野 宣 彦	酪農ジャーナル 2007. 12, 60(12) : 16-18
サイロ・サイレージ物語 12 ロールベールの登場で変わる農村風景	名久井 忠	酪農ジャーナル 2007. 12, 60(12) : 65
経営所得安定対策の問題と今後の方向	市 川 治	労農のなかま 2007. 5, 506 : 5-12

著 書

- | | | |
|--|---|---|
| タウンをマネジメントする，
ショッピングセンターをマネジメントする，
都市経営のマネジメント，
タウンマネジメントの今後の方向 | 加藤敏文
森田敏彦
内野勝巳
水野雅生 | 加藤敏文編著，環境・共生型
タウンマネジメント，学文社
2007. 9, 1-17, 139-161,
222-264 |
| 廃棄物のマネジメント | 押谷 一 | 加藤敏文編著，環境・共生型
タウンマネジメント，学文社
2007. 9, 107-138 |
| 経営学ガイダンス | 松本 懿 | 横山出版
2007. 4 |
| 原始林は拓かれて残された | 仙北 富志和 | 白艫舎
2007. 7 |
| ストレッチングにはどのような方法と効果があるのか？ | 山口 太一
石井 好二郎 | 征矢英昭・本山 貢・石井好
二郎編，
これでなっとく使えるスポー
ツサイエンス，
講談社
2007. 10, 6-7 |
| 運動前，運動中，運動後に適したストレッチングの方法は？ | 山口 太一
石井 好二郎 | 征矢英昭・本山 貢・石井好
二郎編，
これでなっとく使えるスポー
ツサイエンス，
講談社
2007. 10, 8-9 |
| 資源循環型酪農・畜産の展開条件 | 市川 治
森田 久
小千 信
中 准
中 喜
發 久
猫 治
et al 健 司 | 市川 治編著，農林統計協会
2007. 1 |
| 周辺開発途上諸国の共生農業システム
—東南アジア・アフリカを中心に— | 山崎 亮 一 | 矢口芳生他編，農林統計協会
2007. 1 |
| 地域を担うコーディネーターの役割 | 松内 博
江藤 訓
福田 京
田 重子 | 地域づくりコーディネーター
によるまちづくりハンドブック，
地域づくり団体全国協議会
2007. 1, 186-205 |
| 石炭産業遺産 | 山田 大 隆 | 日本産業技術史学会編，日本
産業技術史事典，思文閣出版
2007. 7, 178-179 |
| 農業経営学術用語辞典 | 荒家 和
市 串 哲
小 川 秋
中 糸 生
吉 原 治
et al 健 太郎
一 徹 | 日本農業経営学会・農業経営
学術用語辞典編纂委員会編，
農林統計協会
2007. 1 |
| 我が国における綿羊肉需給について | 工藤 英一
小 山 久
胡 澤 爾
深 史
樹 | 酪農学園大学農業経済学科
編，大谷俊昭教授退任記念論
文集，農畜産業の経済分析，
酪農学園大学エクステンショ
ンセンター
2007. 3, 7-45 |

酪農技術の特性変化が意思決定に与える影響	吉 野 宣 彦	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 47-63
北海道酪農の放牧類型	荒 木 和 秋	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 65-75
近年における酪農の頭数規模別生産性の分析 —TFPによる北海道と都府県の比較—	小丸 糸 健太郎 茗 山 花 明 恵	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 77-90
酪農地帯における中山間地域等直接支払制度の成果と課題 —北海道十勝管内豊頃町の事例より—	發 地 喜久治	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 91-109
集落営農型農業生産法人の経営展開の可能性	市 川 治	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 111-130
北海道米の系統共販と産地再編	相 原 晴 伴	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 149-161
青果物卸売市場における売れ残り品発生の実態とその発生要因	杉 村 泰 彦 泉 谷 眞 実	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 163-174
ドイツにおける購買・販売組合の存在形態	村 岡 範 男	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 175-193
ニジェール河内陸デルタにおける農家の現金収入（第3版） —2006年10月に実施した補足調査をふまえて—	山 崎 亮 一	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 195-219
デンマーク農業の環境規制と効果	中 原 准 一	酪農学園大学農業経済学科編，大谷俊昭教授退任記念論文集，農畜産業の経済分析，酪農学園大学エクステンションセンター 2007. 3, 221-245

100 題でマスターする表計算
—入門から実用まで— Excel2003・2007 対応

森 夏 節
常 見 ひろこ

富士コンテム
2007. 9

北海道生乳生産の中長期見通し
—粗飼料の生産技術の進歩が乳量に及ぼす影響—

小 糸 健太郎
近 藤 巧
寺 西 俊 正

土井時久編著, わが国の生乳
生産シミュレーション—国際
化がもたらす 20015 年日本酪
農の行方—, デーリイマン社
2007. 3, 83-87

北海道生乳生産の中長期見通し
—支庁別に見た生乳生産動向—

丸 山 明
小 糸 健太郎

土井時久編著, わが国の生乳
生産シミュレーション—国際
化がもたらす 20015 年日本酪
農の行方—, デーリイマン社
2007. 3, 88-100